

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2002. 11. 27

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（西大寺南）松本（国府小）
田辺（津島小）津下（国府小）福井（伊島小）

【E-スクウェア, アドバンス】倉橋

岡山県情報教育センターが開発中の「心も育つ理科コンテンツ」を用いて12月12日に西大寺南小で授業を公開するそうです。アマチュア写真家の内山峰人さんがこれまで撮られた約5万点の動植物の写真の中から6百点余りをデジタル化し、四季に分けて取り出せるようにしたコンテンツをどう授業の中に活かすことができるか。そもそも心を育てるとはどういうことか。久しぶりに議論が沸騰しました。



【ブーブーデュエル】松本・津下

前々回ラップの芯からストロー、さらにはブーブー笛へと発展していったモールのヘビダンスが、またもや進化しました。今度は紙コップの上に紙皿をつけたトントン(ブーブー)相撲、そして100円ショップで買った、上が透明の丸い紙箱を利用したブーブーデュエルになりました。4人でブーブー笛を鳴らして、その振動でモールを動かして、相撲をさせます。



【レイシ (ライチー) ・ドリアンチップス】高松

高松先生がまた奇妙な物体を持ってこられました。Rambutans という名前は福井の英和辞典にはどこを探しても載っていません。レイシ (ライチー) だと思うのですが、外見が違うような気も…。もう一つはドリアンチップス。あの強烈な臭いを発する果物として有名なドリアンをスライスして油で揚げた物。どんなにすごい食べ物かと恐る恐る食べたら、無臭で美味。拍子抜けしました。



【モンゴル産の岩塩】福井

スーパーで売っていた岩塩。袋に「蒙古の塩。大平原の命の塩。1億数千万年前の地層から採掘しました」と書かれています。

【基礎学力】田辺

『本当の学力をつける本』陰山英男, 文芸春秋

『学力の基礎は読み・書き・計算にある』陰山英男, 小学館

「教育のトレンドは総合的な学習と基礎学力です」とは田辺先生。

基礎学力で有名な兵庫県山口小学校の陰山英男先生の著書を5冊

紹介してくれました。いずれも読み・書き・計算の力をつけるために学級や学校がどのように取り組んだかについて書かれており、100マス計算や漢字プリントなどが載っています。福井以外の参加者は皆これらを知っており、実際にやってみたことがあるようです。法則化運動も基礎学力もとても人気があるようです。初等理科の研究会はこれらの団体から何を学び何を吸収していけばいいのでしょうか？



今学期の例会はこれで終了です。この例会便りは紙幅が限られているため、福井の独断で割愛した実験やものづくり、授業実践、サイエンスグッズ…などが山のようにあります。誠に申し訳ありません。